

臨床補綴治療の勘所2023

- 現在の到達点と知らないといけないスキル -

第3回 インプラント治療の現状と到達点

・ 現地開催:2023-10-26 (木) 19:30~21:45 会場:福岡県歯科医師会館視聴覚室
・ 後日オンデマンド配信:2023.11.6(月)~11.19(日) on line

1.無歯顎患者に対するインプラントオーバーデンチャーへのCAD/CAMの応用

福岡歯科大学咬合修復学講座インプラント学分野
准教授 加倉加恵 先生



無歯顎患者に対するインプラントオーバーデンチャー(IOD)は、全部床義歯と比較して患者の満足度は高く、QOLおよび義歯の維持、安定、咀嚼機能回復は優ることが明らかである。しかし、患者の高齢化により、上部構造の修理や再作製は患者の身体的もしくは経済的負担が大きくなる。その解決策の一つとしてCAD/CAM DentureのIODの応用が考えられる。今回、当科での臨床研究から、その有用性をお話します。

2.前歯部審美領域のインプラント治療戦略

菊池歯科矯正歯科医院
理事長 菊池大輔 先生



前歯部インプラント治療において機能性に加え審美性を達成する事は必要不可欠な事項であることは周知な事項であると考えます。これらの成功のための主な要件として、適正なインプラントポジション・十分な周囲組織量・顔貌・歯列に調和し生体親和性を有したコンポーネントの付与等が挙げられ、これらの事項を達成するために実践している治療戦略に関して実際の症例を交えてお話をさせていただきます。

3. 欠損修復へインプラントを効果的に使うために必要なこと

白土歯科医院
院長 白土徹 先生



欠損修復のオプションとして今では当たり前になっているインプラント治療ですが、その治療選択には患者さんの年齢や要望、ライフスタイル以外にも様々な状況を考慮する必要があります。今回は、ケースをたくさん見ていただき、解説いたします。

■ 座長

松永歯科クリニック
院長 松永興昌 先生



インプラント治療の発展は目覚ましく、現在では欠損補綴治療の一手段として認知されている。インプラント治療をどうやって行っていくのか？と臨床的に試行錯誤や統計学的に盛んに検証されていた時代から、進化したインプラント治療を様々な歯牙欠損患者にどのように適応させていくかを考えなければならぬ時代となってきた。今回のセミナーでは、様々な症例に対してインプラント治療の有効な活用法と重要視しなければならないポイントを解説していただく。

全コース

①歯科医師	19,000円
②福歯大同窓会 令和4年度会費納入者	17,000円
③歯科衛生士・歯科技工士・スタッフ・その他歯科医療従事者	9,000円
④歯科医師臨床研修医・大学院生	8,000円
⑤歯学部学生・歯科技工学校学生・衛生士学校学生	無料
⑥歯科医師免許取得後3年以内の同窓会費納入者	無料

単発受講

⑦歯科医師	7,000円
⑧歯大同窓会 令和4年度会費納入者	6,000円
⑨歯科衛生士・歯科技工士・スタッフ・その他歯科医療従事者	4,000円
⑩歯科医師臨床研修医・大学院生	3,000円
⑪歯学部学生・歯科技工学校学生・衛生士学校学生	無料
⑫歯科医師免許取得後3年以内の同窓会費納入者	無料

